

誰一人取り残さない教育（すべての児童生徒の主体的な学びを保障）

学校教育目標

めざす学校像

- 安全安心な環境のもと、子どもを主語にして学びあえる学校
- みんなが子どもの可能性を信じ、学び続ける学校
- 保護者・地域の人に開かれ、みんなで作る学校
- 子ども・保護者・地域の人・教職員みんながWell-Beingになる学校



－ 目指す児童生徒像 －

- 「あかるく」→元気に、自分から自分らしく自分なりに
- 「なかよく」→自律しているいろんな人とつながり、ふれあい、ひびきあい
- 「いきいきと」→夢、やりたいにチャレンジ

I

重点目標  
安全安心な学校作りの推進

- ① 施設・設備の点検改修による安全安心な環境作り
- ② 児童生徒の心身の成長に伴う健康管理や保健教育、食育指導の実践
- ③ 感染症対策による持続可能な学習環境作り
- ④ P T Aや地域と連携した大災害時の防災体制の確立



公式マスコット さかとっくん

さかとくインクル

- 地域の特別支援教育の充実
- 切れ目のない支援の充実

0

重点目標  
Well-Beingをめざして

- ①「ありがとう」「やってみよう」「なんとかなる」「ありのままに」の実践からWell-beingを探究
- ②幸せに働ける心理的安全性のある風通しのよい職場の醸成と、適切なワークライフバランスに向けた働き方改革を推進する。
- ③大人も子どもも「対話」「主体的」を意識し、認め、挑戦する人を応援する支援失敗したら「やり直し」ができる環境づくり。

II

重点目標  
ニーズに応じた学びの充実

- ① 様々なICT機器を活用としたアクティブラーニングの実践
- ② 自立と社会参加に向けた児童生徒の個別に応じた指導実践
- ③ 発達段階に応じた教育課程による小中高一貫性のある実践
- ④ 体験型学習やデュアルシステム型実習の積極的活用

－ 目指す教師像 －

- 子どもに寄り添い、子どもが信頼し、伴走する教師
- 児童生徒の可能性を信じ、任せ、学び合う教師
- 未来を見据え、探究心をもち、学び続ける教師
- 授業を校内外みんなに開き、対話を重視して協働する教師

子どもを主語に

III

重点目標  
教員の意識向上のための研修の充実

- ① 職員全体や個人研修の充実を図り、特別支援教育の専門性を高める
- ② I C T環境の充実、教材データ化による働き方改革の推進と学習の充実
- ③ 魅力ある学校づくりのための教育環境の充実
- ④ 教員のコンプライアンス意識を高め、教育公務員として人間性の充実

IV

重点目標  
地域の連携とセンター的機能推進

- ① 地域・小中高との交流及び共同学習の推進を深め、コミュニティスクールの充実
- ② 地域のセンター的機能としての支援の充実
- ③ 外部団体や地域資源を活かした P T A 活動の充実
- ④ 学校教育活動の公開やHPを利用した情報発信

コミュニティスクール

- 地域と共にある学校づくり
- 社会総掛りでの教育の実現

チームワーク・フットワーク・ネットワーク